

統合報告書「セコムレポート」の発行にあたって

本レポートでは、「セコムグループ2030年ビジョン」の実現に向けて、これまで進めてきた取り組みの進捗や成果、課題などについて報告しています。またセコムが「安全・安心・快適・便利」な社会を実現する「社会システム産業」の構築をめざすにあたって、価値創造の源泉として重視する人財への取り組みを特集でフォーカスしています。

変わり続ける社会において、セコムは中長期的な企業価値向上に邁進し、その価値をご判断いただくために、ステークホルダーの皆様とのより深いコミュニケーションに努めていきます。



布施 達朗
専務取締役
社長補佐、広報・渉外・
マーケティング本部長

参考にしたガイドライン

IFRS財団の「国際統合フレームワーク」および経済産業省「価値協創ガイダンス」を参照しています。

報告対象組織

原則としてセコム(株)、連結子会社、持分法適用関連会社および変動持分事業体を対象としています。ただし、対象が異なる場合は、その旨を明示しています。

報告対象期間

2024年3月31日に終了した年度の実績を記載しています。また一部、本レポート発行直近の取り組みも含みます。

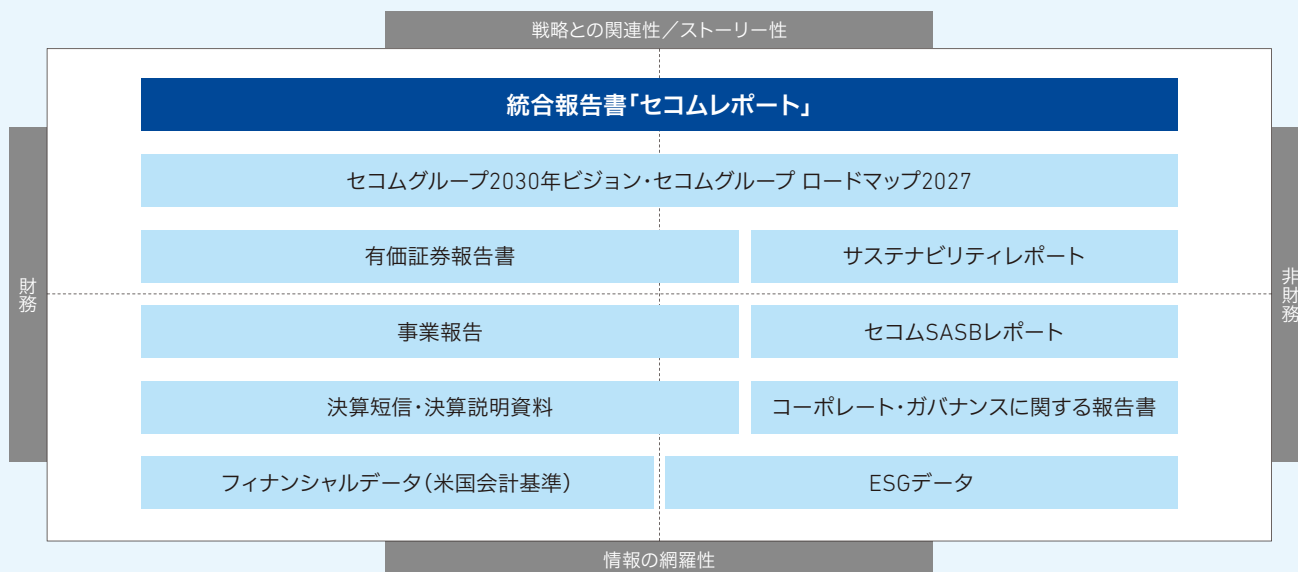
会計基準

財務データにつきましては、別途記載がない限り、米国会計基準に準拠しています。

見通しに関する注意事項

本レポートには、セコムの将来についての計画、戦略および業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。実際の業績は、セコムの見通しと異なり得ることをご承知おください。

情報体系図



IR情報はこちら

<https://www.secom.co.jp/corporate/ir/>



サステナビリティ情報はこちら

<https://www.secom.co.jp/corporate/sustainability/>